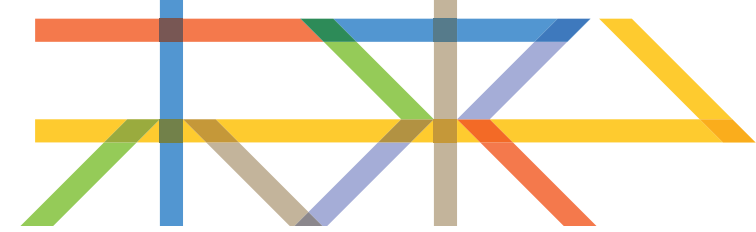


06 アクション目標

私たちが問いに向き合う中で考え出した「人一生の育ちの可能性」。
これからどんな未来が訪れるのか、そして今、社会はどんな状況にあるのかを
踏まえ、この「人一生の育ちの可能性」をすべての人が最大化できる社会を
実現するために、取り組むべきアクション目標を設定しました。





■アクション目標の作成意図

このアクション目標は、「人一生の育ちの可能性」をすべての人が最大化できる社会の実現に向けて、私たちが必要だと考えた目標です。すべての人は、育ちの主体者であると同時に誰かの育ちを支える支援者です。すべての人が自分自身と周りのすべての人の可能性の最大化のために、考え、議論し、取り組んでほしいと思っています。一方で、社会はものすごいスピードで変化していきます。したがって今回設定したこの目標も、社会の変化や人々の意識のシフトを受けて、社会の中で大きく発展し、更新されてほしいと願っています。

■構造

アクション目標は、10個の目標と、それぞれの目標を実現するための33の具体的なアクションプランを元に設定されています。具体的なアクションプランに取り組むこと、そしてそれらのアクションプランへの取り組みを統合的に議論することで、10個の目標の実現を目指していきます。



人一生の育ち アクション目標

目標	アクションプラン
 01 人が本来持っている多様な能力を伸ばす教育を実現しよう	1.1 教育の一律性からの脱却と進化を実現しよう 1.2 時代の変化に対応した、自由で本質的な授業実践の開発と提供を促進しよう 1.3 様々な教育の取り組みを共有する仕組みを構築しよう 1.4 非定型な発達についての理解を社会的に高め、ひとりひとり違う個性や才能を伸ばせる環境を創ろう
 02 評価についての議論をしよう	2.1 習熟度、達成度をはかるテストについての議論をはじめよう 2.2 子どもの学びや発達を支援するための評価・データ蓄積の仕組みを検討しよう 2.3 入試、就職などの選抜についての議論をはじめよう 2.4 査定についての議論をはじめよう
 03 先生の忙しさを解消し、成長を支援しよう	3.1 先生の業務量の本質的な削減に向けてロードマップを作成し、財源を確保するとともに有効な施策を実施しよう 3.2 学校管理職のスキルと役割を見直し、マネジメントが効く組織づくりを実現しよう 3.3 民間コーチの仕組み導入などによって部活動から教員の負担を解放しよう 3.4 教員養成と自己研鑽に対する財源と時間を充実しよう
 04 社会全体で次世代を育てる仕組みを検討しよう	4.1 すべての市民で次世代を育てる社会に開かれた学校のあり方を議論しよう 4.2 教育コンテンツ、教員養成、学校改革への民間の知見の活用を促進しよう 4.3 意欲ある民間からの教育長・校長の登用を促進しよう 4.4 学校と民間企業の人材交流を推進しよう
 05 教育投資の財源を考え確保しよう	5.1 公的教育費の GDP 比率を向上しよう 5.2 幼児教育の重要性への理解を促進し、公的投資を向上しよう 5.3 地域づくりと教育のつながりを強化し、地域経済からの資金調達の仕組みをつくろう
 06 貧困と教育格差の連鎖を解決し、すべての子どもの尊厳を守ろう	6.1 生まれた環境等で発達の機会が損なわれない教育の仕組みをつくろう 6.2 公教育によって格差の再生産を解決するためのロードマップを作成し、財源を確保するとともに有効な施策を実施しよう 6.3 高度なスキル、実績を持つ NPO や民間企業との連携を促進しよう 6.4 福祉と連携し、セーフティネットの充実を目指そう
 07 職業的スキルの形成とキャリア支援の仕組みを整備しよう	7.1 専門学科の高校、高等専門学校、専門学校の機能と価値を最大化しよう 7.2 失業者、無業者がキャリアを描きなおせる職業訓練の仕組みを整備しよう 7.3 自分らしいキャリアの形成を統合的に支援する仕組みを整備しよう
 08 大学を中心に知的創造社会をつくろう	8.1 知的創造社会における大学の存在意味（機能・価値）について議論しよう 8.2 知の創造の場としての大学の機能を高め、社会からの認知を広げよう 8.3 産官学民連携を促進し、大学発のイノベーションを促進しよう 8.4 大人の学び直しの場としての大学を整備しよう
 09 大人の育ちを支える仕組みをつくろう	9.1 産業構造の変化に対応したリカレント教育の在り方を議論をはじめよう 9.2 組織を大人がいきいきと、のびのび成長する場にしよう 9.3 立ち止まって自分を見つめ直すことの価値が認められ、そのための仕組みを充実させよう
 10 人一生の育ちに関する統合的意識を持ち、それを支える仕組みを更新し続けよう	